

姫城中川ファーム株式会社

家族経営の姫城中川ファームは、全国ブランドの「米沢牛」を常時200頭飼養。米沢牛枝肉共進会でチャンピオン賞を作出するなど高い技術力を誇る。令和2年にJGAP認証を取得し、米沢牛生産農場で唯一のJGAP認証取得農場となった。

代表者名：中川 剛
所在地：山形県西置賜郡白鷹町
認証：JGAP(令和2年)

頭数：肥育牛約200頭
構成員：3名
品目：肉用牛

取組の紹介

【生産工程管理の改善に向けた取組】

- 月1回、複数の外部専門家を構成員に含む農場HACCP・JGAP支援チームを集め、認証の維持・更新審査等に向けた検討会を開催。
- 作業安全研修や敷地内での速度規制看板の設置等により、作業事故の防止意識が向上。
- 一つ一つの作業を検証し作業をマニュアル化したことで、作業が効率化された。

【生産効率性向上に向けた取組及び効果】

- 農場立ち入り者の記録等基本的な衛生対策の徹底により家畜伝染病等の発生を防止。
- 牛の体調不良時に、過去の治療履歴から適切に処置することで早期回復につながっている。
- 飼養管理の徹底により、牛の事故率(令和3～令和5年度)は、0.5%と山形県内の一般的な事故率4%を大きく下回っている。

【経営改善に向けた取組及び効果】

- JGAP認証を取得による有利販売。

【地域内外への波及効果】

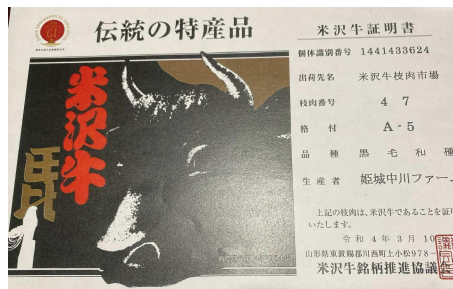
- 地域の畜産農家にGAPの取組やJGAP取得の有用性に係る情報を共有。
- 県外の和牛生産者の視察を受け入れ、JGAPの活用を指導。



検討会の様子(月1回開催)



速度規制看板の設置



米沢牛証明書(GI、農場HACCP、JGAP、non-GMO飼料の使用が明記)